

//

# あんてな

2023年

1月～6月

全六回開催

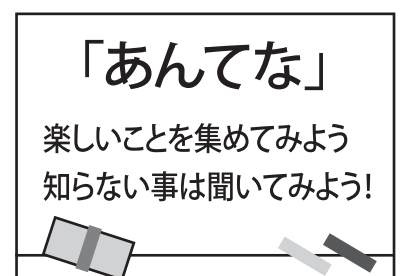
「無線の始め方、楽しみ方講座」

## 開催終了につき、記録及び報告

【企画担当】 JM1PKK：川村

### ◆企画の名称

『あんてな』無線の始め方、無線の楽しみ方講座



### ◆企画、主催

ハムショップ フレンズ（秋吉）、羽村ARCハムラズ JM1PKK（川村）

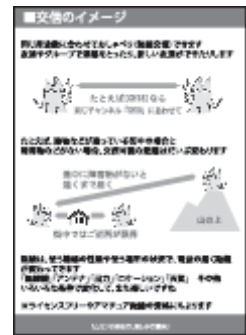
### ◆企画の主旨、目的

- ① 電気、電子に興味を持ったり、無線を始めたいと考えている方々（子どもから大人まで）向けに、ちょっとした疑問質問から、無線通信の方法など幅広く答えてあげる窓口を開設
- ② 「アマチュア無線資格取得講習会」において、相当数の「無線従事者免許証」有資格者が誕生しているが、資格取得後に無線運用して、楽しんでいる人は少ない様子資格を取らせるだけでなく、取得後のフォローアップも必要
- ③ アマチュア無線、フリーライセンス無線などを既に運用されている方々には「いつものローカル局」「所属クラブ」「お住いの地域」などを“縦”繋がりとする“横”の“交流の場”を開設し、無線の楽しみが少しでも広がる事を期待します

## ◆開催方法について

- 2023年1月から6月まで、毎月一回、全六回を開催した
- 全六回とも 羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」を利用 ※利用料は有料
- 自由に入出りできる「クラブハウス」を開設し、ビギナーもベテランも気軽に参加してもらおう
- 「講師の話を参加者が聴く」といった教室スタイルはとらない
- 勉強会や教室ではないので、気楽に情報交換してもらおう
- ビギナー向けに、無線のことや楽しみ方などを「パネル」にして展示した
- ベテラン参加者はビギナー参加者の疑問、質問、に答える
- スタッフ、参加者の区別をしない
- 誰でも参加しやすいよう、今回は公共施設を利用した
- 今回は無料参加開催とした

展示パネルの一例



## ◆各回の内容

### <第一回>

YAESU営業殿、参加していただきました

新製品 FTM-500について、デモ展示と説明ありました

質疑応答から話は「こんな機能が欲しい」から「こんな無線機作って」と、生の意見がたくさん出ました

ヤエスさんは、きっとかなえてくれると思います

### <第二回>

「コールサインの復活申請中」の方や、「開局予定」の方も参加がありました  
第六回の際には「復活」されていました

### <第三回>

今後の参考にするため、アンケートに協力していただきました

- 久々に会いボールできた
- リグやアンテナの事をいろいろ聞く事ができた

など、「あてな」は概ね好評でした

### <第四回>

• イベント「福生ではむハム 無線と音で公開運用する「ミニFMラジオ送信機」の動作確認をかねて、「ゆとろぎ」施設内のエリア試験を実施、ハンディ機を持って館内をまわり、受信強度の確認をしました

来年「ゆとろぎ」で開催予定の「ハムらde無線フェア」でも使えそうです

• 持込企画で映画鑑賞 タイトル「空と海の間」 かなり古い字幕映画で、世界のハムが協力して「ハム病」を発症した漁船の乗組員を助ける話でした

### <第五回>

- ・5/7開催した「福生ではむハム 無線と音楽」の報告
- ・参加者よりいただいた「お題」でフリートーク

### <第六回>

- ・MCより「あんでな」開催のお礼
- ・「あんでな」今後の開催について、継続希望をいただき、嬉しかった
- ・小学校で開かれる「電子工作教室」の教材下準備
- ・参加各局に、アマチュアバンドごとの様子を伺った
- ・誰かが持ってきた「ハンドメイドアンテナ」を、誰かが持ってきた「nanoVNA」で特性測定

## ◆開催して

「出来る限り自由参加」の企画として、どこまで組み立て、仕切るか？を意識しましたが、「出席リスト」や「自己紹介」は参加者からは自由でなくなります  
そっと参加して、様子を見たい方もいるに違いありません

これといった企画は用意しませんでした「雑談にどのように火をつけるか？」を考えると、「はじめ」と「振り」がとても重要でした  
やはり「ただの空間」を提供するだけではダメなんですね

リグ、アンテナを設置して無線運用したり、マニアックな機材を使った測定や実験などもやりたかったが、企画、手配、準備が必要で、てがまわりませんでした  
今後、開催スタッフなど体制が整えば、難しいことではないと思います

事前のシミュレーションと実際では、乖離するものがあつたが、「企画の主旨」などはイメージ通りに実現できたと思う

参加者大半は顔なじみメンバーでしたが「話題」や「コンテンツ」の提供もあり、大いに盛り上げていただいた  
個人といいつつもYAESU殿の参加があり、みなさん最新機器に触れる事ができ、直接質問に感じていただけた

「これ分かる？」と言うと、横から「知ってるよ」と割り込み、「ああでもない」「こうでもない」と話が膨らんでいく感じが、とてもよかった

無線の仲間とはいえ、たまに顔を合わせると楽しいもの、気軽に集まれる「場所」って、必要なんだと思いました  
いい表しようのない企画でしたが、今後も需要がありそうです

## ◆今後について

各回の平均参加人数は約20名でした。試験開催でもあった「あんてな」のため、広く開催告知はしませんでした。今後の開催時には、学校や子ども会、自治体広報なども利用し、広く告知して「電気、電子に興味を持ったり、無線を始めたいと考えている方々」参加者を募っても十分対応できることが判りました。

「あんてな 全六回」は「イベントであって何するわけでない」という、斜め上の企画でしたので、お試しなところがありましたが最終回で聞いてみたところ、継続を希望する声が多いようでした。

今後継続する場合は「経費」を考える必要があります。「ゆとろぎ」は利用料が高めですので、会場や開催方法など検討が必要。無線運用や工作、実験も、それなりに経費が発生するので、十分企画、計画を練ること、またそのスタッフも必要。

## ◆ウェブサイトとお問合せ

『あんてな』無線の始め方、無線の楽しみ方講座 全六回は、ウェブサイトで公開しています。

トップ <https://www.cqmart.com/beginners/beginners.html>

記録 <https://www.cqmart.com/beginners/beginners-kiroku.html>

お問い合わせはこちらまで [kawanett@cqmart.com](mailto:kawanett@cqmart.com)

この企画は、続けていくと  
「ローカル」や「クラブ」を超えた  
おおきなコミュニケーションに発展する  
可能性があると思います